

## 会議結果報告

1 会議の名称

平成29年度第3回光市環境審議会

2 開催日時

平成30年3月15日（木）15時～16時30分

3 開催場所

教育委員会2階 会議室

4 出席人数

委員8人（6人欠席）、事務局7人

5 公開・一部非公開の別

公開

6 会議の議事録（要旨）

（1）開会

（2）会長あいさつ

暖かくなってきて、梅園に行くと“めじろ”や“うぐいす”がおり、春を感じる。  
本日は3つの議題がある。よろしくお願ひしたい。

（3）議事

ア 「第2次光市環境基本計画」リーディングプロジェクトの改定について  
事務局より配布資料に沿って説明

**【質疑・意見等】**

（委員）

7ページの4項目目「燃料電池自動車の導入検討」について、スケジュールの欄にも「検討」が記載されており、導入検討を検討している段階なのかと捉えられることから、導入検討の「検討」は必要ないのではないか。

（事務局）

世界的な流れの中で、先行きが読みにくい部分もあり、こういう表現にさせていた

イ 平成30年度環境関連施策について

事務局より配布資料に沿って説明

【質疑・意見等】

(委員)

可燃ごみの中に含まれている雑紙について、どのくらいの量があるのか。また、市民に対して、分別の徹底を図った方が良いと思う。

(事務局)

手元にあるのは平成27年度の数値であるが、可燃ごみの中の紙類については28%という結果がある。

また、年2回開催する「ごみ減量等推進委員会」においてPRしているほか、ごみ分別事典においてもPRしている。

(委員)

可燃ごみのうち生ごみの占める量が60%というのは、他市と比べてもとても多いと思う。こういった根拠のデータなのか。雑紙については、もっと積極的な対応が必要と思う。何か対策はあるのか。

(事務局)

雑紙については、資源回収の奨励金を、平成28年度から、キロ当たり3円から5円に引き上げ、多くの回収に努めているところ。また、雑紙とはどのようなものかということも、7月に改訂したごみ分別事典に掲載した。

(委員)

60%というのは、どういう数字か。

(事務局)

重量である。

(委員)

リサイクル推進事業について、資源回収団体というのは、具体的にどういう団体か。

(事務局)

市内のPTA、学校、地域でボランティアで回収している団体などである。

ウ 光市の環境について

事務局より配布資料に沿って説明

【質疑・意見等】

(委員)

水質検査の分析の場所は、庁内にあるのか、委託しているのか。

また、基準値を超えた場合のマニュアルはあるのか。

(事務局)

今回は、県が行う測定結果のご報告をしているが、県においては、県の分析センターで行うものと、委託に出しているものと二通りある。光市においては、全て委託に出している状況である。

基準値を超えているもののほとんどは大腸菌群数であり、それについて対策を講じているということはないが、下水道整備等の指標としては活用している。

仮にp h等が著しく高い数値となった場合は、再度調査を行ったうえで、緊急の対策を実施することはあると考えている。

(委員)

大腸菌群数が多いからといって、すぐに対策ということにはならないということでは理解できるが、原因はしっかり把握しておかなければならないと思う。原因は、下水道の関係ということで理解してよいか。

(事務局)

大腸菌群数については、下水道の整備や浄化槽設置の推進により水質は良くなっているものの、下水道という別のルートができたことにより水量が減っており、群数としては一定の水量の中で増えていると考えている。

また、大腸菌が土壌や植物などといった自然界に由来するものもあることから、その辺りもあると思っている。

(委員)

田畑に蒔く牛糞などといったものも関係するののか。

(事務局)

関係する。

(委員)

2ページの気象の項目のうち、文章中の「平均気温」と表中の「平均気温」が違っているのは間違いか。

(事務局)

おっしゃるとおり、文章中の記載が誤りであり、大変失礼した。

(委員)

88ページの表66中、「環境基準」の欄に「不検出」とあるのはどういうことか。

(事務局)

不検出であることが環境基準である。

(委員)

同表のうち、「超過井戸数」が数値であるものと「－」であるものがあるが、その違いは何か。

(事務局)

それぞれの井戸で全ての項目を調査しているわけではない。

(委員)

「ふっ素」については、超過井戸数が「－」になるのではないか。

(事務局)

おっしゃるとおり。ご指摘に感謝する。

## エ その他

来年度の審議会の開催について案内

#### (4) 閉会

(部長あいさつ)

本日は、大変熱心にご審議いただき感謝申し上げます。ごみ問題については、光市の高齢化のピーク時において、どのような分別や収集を想定していくのかということをお話しされている。未来からの借り物である自然を、より良い状態で継承していくために努力してまいりたい。